

1 基礎情報

申込人 住所 名称 代表者 TEL ()	開業形態	個人・法人	従業員数	人
	開業日	令和 年 月 日		
	商号・屋号			
	開業地の住所			
	業種	資本金 (会社設立の場合)		

2 事業概要

事業内容※1 取扱品 サービス 価格帯など		
事業を行う上で 必要な許可・ 申請状況		
開業目的 または動機	※本業に関する経験・知識・技術・ノウハウの取得状況、事業協力者の有無、特筆事項なども、併せて記載してください。	
申込みに 至った経緯		
経営者の略歴等	年月	内容 ※出身地が県外の方は、静岡にきた経緯も併せて記載してください。
開業場所(住所) 選定理由 立地条件 面積 家賃など	※別紙として地図を添付してください。	
強み※2		
弱み※2		

※1 事業内容とは・・・誰に、何を、いくらで、どのように販売するのか、また営業時間の設定等、詳細に記載してください。

※2 強み・弱みとは・・・事業を行う上で、他社や競合相手と比較して優れている点や不足している点などをどのように認識しているか、記載してください。

3 市場環境

市場性※1 業界動向 需要動向 地域性など	
競合状況※1	

※1 市場性・競合状況・・・御社が参入する余地、顧客ターゲット、競合の参入状況など、取り巻く環境を記載してください。

4 販売先・仕入先・外注先

主な販売先	所在地※1	取扱品※2	販売予定額(年)	シェア	掛取引の割合	回収条件
			千円	%	%	日締 日回収
			千円	%	%	日締 日回収
			千円	%	%	日締 日回収
主な仕入先	所在地※1	取扱品※2	仕入予定額(年)	シェア	掛取引の割合	支払条件
			千円	%	%	日締 日回収
			千円	%	%	日締 日回収
			千円	%	%	日締 日回収
主な外注先	所在地※1	取扱品※2	外注予定額(年)	シェア	掛取引の割合	支払条件
			千円	%	%	日締 日回収
			千円	%	%	日締 日回収
			千円	%	%	日締 日回収

※外注先を利用予定の場合は、利用する必要性を記載してください。

※1 所在地・・・分かる範囲で記載してください。

※2 取扱品・・・取引する商品または提供するサービスを記載してください。

5 開業準備の着手状況※1

以下の書類がある場合は○印を付し、資料を添付してください。	
商業登記簿謄本(法人の場合)	自社が提供する商品等の売買契約書※2
店舗等の建築請負契約書※2	取引先発行の発注書(発注書に基づく自社発行の納品書)
事業用不動産の売買契約書または建物賃貸契約書※2	税務署への提出日以前に事業を始めていることが確認できる開業届出書※3(個人の場合)
事業用建物の建築確認書	その他()

※1 着手状況とは・・・事業開始に向けた現在の準備状況を、客観的資料をもってお示しいただくものです。

※2 契約書について・・・契約書締結前の場合は、契約書のひな型を添付してください。

※3 開業届出書とは・・・個人事業主として事業を開始する際に、税務署に提出する書類です。

6 収支計画 (単位:千円)

項目	1期目		計算根拠							
	事業が軌道に乗った後の単月平均	1年間の累計								
① 売上高			※それぞれの項目について、その計算根拠を可能な限り細かく具体的に記入してください。 ※業界平均や競合先など同規模同業者の数値を根拠として例示してください。 ※「⑧その他」を記入の際は、内訳も記入してください。							
② 売上原価 (仕入高・製造原価)										
③ 売上総利益(①-②)										
経費	④ 人件費									
	⑤ 家賃									
	⑥ 光熱費									
	⑦ 減価償却費									
⑧ その他										
⑨ 経費計(④~⑧)							収支計画	売上高	営業利益	減価償却費
⑩ 営業利益(③-⑨)							2期目			
			3期目							

<記入例>
売上高の算出根拠は以下の通り(飲食店の月商のケース)

	席数	回転数	客単価	営業日数	1か月の売上
平日ランチ(11時30分~14時)	20席	× 0.7回転	× 800円	× 18日	= 201,600円
平日ディナー(17時30~22時)	20席	× 0.5回転	× 1,700円	× 18日	= 306,000円
休日・休前日ランチ(11時30分~14時)	20席	× 1.0回転	× 800円	× 8日	= 128,000円
休日・休前日ディナー(17時30~22時)	20席	× 0.8回転	× 1,700円	× 8日	= 217,600円
合計					853,200円

なお、回転数については店舗コンセプト・席数・立地条件に近い、現勤務先店舗の実績を採用。

8 資産・借入状況
 ※不動産謄本、金額が確認できる預金通帳の写し、借入金の返済予定表等を添付してください。
 ※ここでの借入金は、今回の資金調達計画によるもの以外の借入金を記載してください。

不動産等 資産背景 (申込人・法人代表者名義)			預貯金 (申込人・法人代表者名義)		借入金 (今回申込の借入金は含まずに記載してください)	
宅地	m ²	千円	普通預金	千円	事業性借入 (今回申込分を含まず)	千円
田畑	m ²	千円	定期預金	千円	住宅ローン (申込人または法人代表者名義)	千円 (年間返済額)
山林	m ²	千円	有価証券	千円	その他 ()	千円 (日締 日回収)
建物	m ²	千円	その他 ()	千円	その他 ()	千円 (年間返済額)
その他 ()	m ²	千円	上記小計②	千円	上記小計③	千円
上記小計①		千円	資産合計①+②	千円	正味資産①+②-③	千円

7 開業に必要な資金と調達方法
 ※金額が確認できる預金通帳の写し、残高証明証、見積書、領収書等を添付してください。
 ※ここでの借入金は、今回の資金調達計画における借入金を記載してください。

必要資金	金額(千円)	調達方法・内容	金額(千円)
設備資金 事業用不動産取得、敷金、入居保証金、改装費 車両、機械設備、什器備品など (内訳)		預金	
		自己資金 預金以外	
①設備資金 計		本件借入金	
運転資金 商品・原材料等の仕入資金、人件費など (内訳)		借入金 その他の借入金	
		その他 その他の資金	
②運転資金 計			
合計(①+②)		合計	

9 その他
 ※組織図、工場・店内レイアウト、提供するサービス、商品のメニューや一覧などを記載する欄として、活用してください。

注)創業関連保証、創業等関連保証、開業パワーアップ支援資金(県制度)をご利用される方は、
 所定の「創業・再挑戦計画書」の提出が必要となる場合があります。